

しんあい

季刊

2020年(令和2年)9月20日発行 第115号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧ください！



本日の手づくりおやつは、白くま風アイスクリームです。暑い厨房の中で愛情を込めて作りました。
(泉苑 食事係)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉法人を考える6
～母子生活支援施設とは～
(1)歩みと役割

◆ 2019年度事業報告
決算報告

◆ 施設だより
「〇〇の秋」

社会福祉法人 を考える 6

～母子生活支援とは～ (1) 歩みと役割

業務執行理事(母子担当) 小笠原 祐次

今回から3回にわたって、多摩同胞会の原点として、昭和21(1946)年から継続してきた母子寮、母子生活支援施設について、歩みや今日の役割などについて考えてみたいと思います。

1 母子寮、母子生活支援施設の歩み

わが国初の母子寮は、大正7年、大阪で生まれた泉尾節婦館です。この年は、米騒動があった年で、庶民には厳しい時代でした。大正11年には東京のスラム街で東京初の二葉保育園母の家が創設されました。この2施設とも、保育園の運営の中から、困窮母子の保護と母性保護のために生まれたのです。昭和4年には、救護法の救護施設の一つとして「母子寮」が定められました。法制度に定められたと言っても、昭和10年頃でも母子寮は全国で約20施設、昭和12年には母子保護法や軍事扶助法でも「母子寮」が定められ、設置されています。戦前の母子寮は約30施設ほどでした。

戦後になると、昭和21年に旧生活保護法が定められ、その中に母子寮も位置づけられます。多摩同胞会の網代母子寮は、この生活保護法の更生施設として認められたものです。

翌年には児童福祉法が成立し、児童福祉施設の一つとして母子寮が、母と子の保護と自立援助を目的にして設けられました。しかし、網代母子寮は生活保護法の施設のまま事業を行っていました。

母子寮・母子生活支援施設の歩み

	全国、母子施設の動き	多摩同胞会 母子施設	関連事項
戦前	T7 泉尾節婦館(大阪) 初めての 母子寮		
	T11 二葉保育園 母の家		
	S7 救護法実施 母子寮、法定化		
	S12 母子保護法に母子寮、定める 軍事扶助法改正 母子寮の定め		
戦後	S21 旧生活保護法 更生施設として 母子寮 規定	S21 (都立)網代母子寮創設 (生活保護法の 更生施設として 認可)	S20 終戦
	22 児童福祉法 母子寮 規定 (基準、母子室 1世帯に1室一人当たり1.5畳 など)	網代母子寮では 1室に2～3世帯が同居	
昭		28 白鳥寮(府中)創設	
		33 白鳥寮に小鳩保育園認可	
	36～37頃 母子寮の斜陽施設化が問題に	35 網代母子寮、白鳥寮 生活保護施設の更生施設→宿所提供施設 と認可	
		40 網代母子寮、白鳥寮が児童福祉法の児 童福祉施設・母子寮となる	
和	42 全国の母子寮の定員充足率5割以下の施設が 半数を超える	42年度 網代母子寮、白鳥寮 全面改築 個室(台所付)化、食事が各世帯ごと に(集団給食廃止)	
	46 神戸市、母子緊急一時制度		51 厚生省委託研究 「母子寮の現状と今後の課題」 今後は、母子家庭保護・支援型と 住宅提供型に体系化することを 提言53には、全国母子協議会、 「あるべき母子寮の姿」を報告
	48 東京都母子緊急一時保護制度 (夫の家庭内暴力 問題化)	48 網代母子寮 都の母子緊急一時保護事 業を受託	
	50 全国調査で 全国の母子寮での1世帯1室の割合が未だ69%		
平	62 基準改定 寮母→母子指導員に		
		H元年 中野区のさつき寮受託	
			H6 エンゼルプラン 母子施設につ いては言及わずか
	H10年前後から、母子施設入所理由の「夫の暴力」目立ってくる	7 白鳥寮 改築 居住条件改善 (1世帯 6畳+4.5畳DK、トイレ、 浴室設置) 子ども家庭支援センター創設	7 阪神大震災 この頃社会福祉基礎構造改革進む
成	H10 児童福祉法改正 母子寮 → 母子生活支援施設 児童家庭支援センター 法定化	10 網代母子寮→網代ホームきずなに改称	12 児童虐待防止法 13 DV防止法
		16年度 たっち受託、事業開始	
	17 (東京ルール、ある区の規定から入所期間の短縮化が進められる)	17 中野区さつき寮3月で終了	
	23 児童福祉施設最低基準 改定 母子室1人3.3㎡→1室30㎡超	23 (都立)網代ホームきずな、都から法人へ 民間委譲となる	23 東日本大震災
令和		R2 きずな 全面改築(1棟化)	29 「新しい社会的養育ビジョン」

母子寮が児童福祉施設になり、昭和25年頃から全国に急増し、昭和30年代には600施設を超えました。入所者も大幅に増え、昭和30年には3万5千人を超えています。これは戦死や戦災による母子家庭の保護が急がれたからです。しかし昭和36～7年にはすでに斜陽施設化が問題になっていました。その後一貫して、施設数も入所者数も減り続け、現在では約200施設、入所者は1万人を割っています。しかし、その一方で、母子家庭は増加の一途をたどり、生活保護率も高まり、生活困窮、格差に悩まされている家族が少なくないことを示しています。また、家庭内暴力も社会問題化し、母子家庭の生活は決して安定的ではありません。母子生活支援施設の設置の動きとのちぐはぐさが、目立っています。なお、平成10年の児童福祉法改正で、「母子寮」の名称が「母子生活支援施設」に変わっています。

多摩同胞会は昭和21年創設の網代母子寮(都立)から出発し、今日に至りました。創設は戦後直後のことで、あらゆる物資が不足する中での母子の保護ですから、食料の確保だけでも大変な苦勞でした。居室も1室に2～3世帯が雑居するありさまでした。

母子寮の必要性はその後も続き、昭和28年に府中市に白鳥寮を設けました。お母さんたちの就労を応援するために、昭和33年には白鳥寮に小鳩保育園を開設しています。そして昭和40年になって初めて、網代母子寮と白鳥寮は児童福祉法の母子寮に認可されました。昭和42年には、網代母子寮も白鳥寮も施設の改築を行い、1世帯1室を実現し、併せて居室に台所を備え、家族が自室で食事ができることになり、集団給食を廃止しました。

昭和40年代後半には、家庭内暴力によって母子の被害が目立ってきたことで、昭和48年、東京都では母子緊急一時保護事業を始めました。網代母子寮がその事業を受託し、今日まで年間約50世帯の緊急避難の母子を保護してきました。

平成7年には、白鳥寮が全面改築を行い、1世帯2室、トイレ浴室を備え、これまでの居住条件を大幅に改善しました。併せて子ども家庭支援センターを併設し、地域の子育て家庭を支援するために、府中市から子どものショートステイ事業、トワイライト事業(夕方からの学童保育)などを受託し、地域の子育て支援事業の推進に努力してきました。また平成16年には、府中市の子ども家庭支援センターとしての「たっち」の事業を受託し、広く府中市全体の児童福祉の事業を担っています。

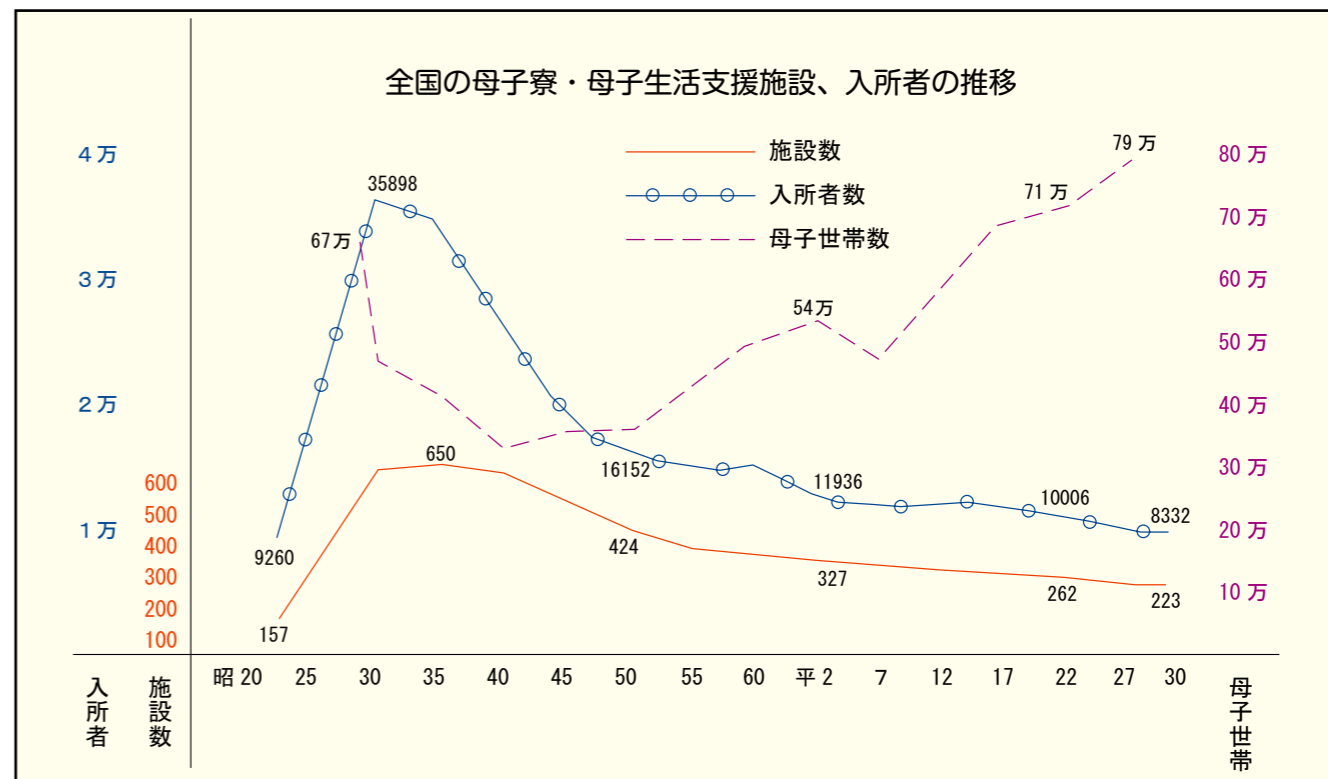
平成10年に、網代母子寮は「網代ホーム きずな」と名称を変え、平成23年に東京都から民間委譲され、令和2年には、全面改築で居住棟と保育室、事務所を1棟化し、居住環境の改善を図ると同時に運営の合理的条件を整えました。

母子緊急一時保護事業とは

母子緊急一時保護事業は、離婚やDV被害者の増加など母子世帯の不安の広がりを受けて、全国約7割以上の母子生活支援施設で実施されています。

この母子緊急一時保護事業は、昭和46年9月に神戸市、次いで東京都が昭和48年2月に制定し、網代ホームきずな(旧網代母子寮)を指定施設として事業が開始されました。開始以来今まで、網代ホームきずなではDV被害などで悩む、約1700世帯の母子の保護を行ってきました。

平成に入り、この事業は母子生活支援施設の基本機能として位置づけられるようになり、都内の母子生活支援施設の8割の施設が実施しています。(白鳥寮施設長 近藤政晴)



2019年度 事業活動計算書の概況

2019年度決算は、昨年度に比べ、少し光明のある結果となりました。サービス活動収益計については、法人全体として98,838千円（約2.8%）の増収となりました。主な理由は、介護職員等特定処遇改善加算が10月から算定されたことによる純増（約18,000千円）と泉苑をはじめ各施設の特別養護老人ホームの利用率改善により、介護保険収益が前年比92,597千円増となったことです。老人福祉事業収益、児童福祉事業収益、その他の事業収益も、理由はそれぞれ異なりますが、全て増収となりました。

収益全体における構成比は、介護保険事業収益が73.5%、老人福祉事業収益が5.6%、児童福祉事業収益が10.2%、その他の事業収益が4.3%です。

施設整備等補助金収益の主な内訳は、かんだ連雀が77,696千円、網代ホームきずなが89,200千円です。

一方、サービス活動費用計は、77,585千円（約2.3%）の増でした。職員数は常勤換算で前年度末より減りましたが、人件費は57,220円増となったことが理由です。処遇改善加算は全額人件費に充当されることから、収益に対する人件費率は膨張しています。

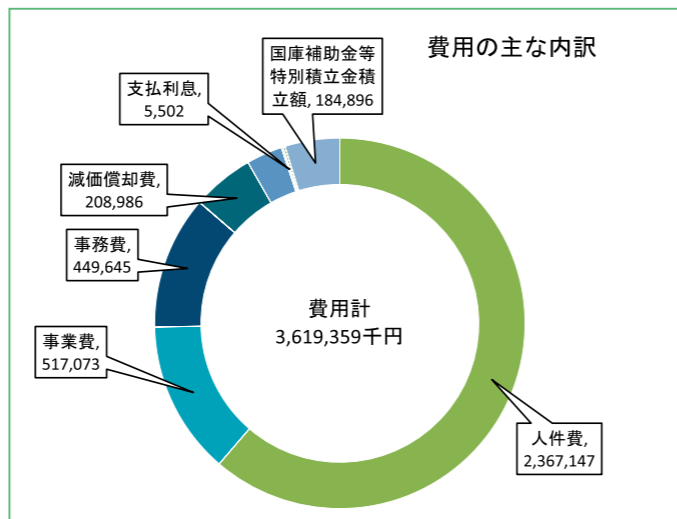
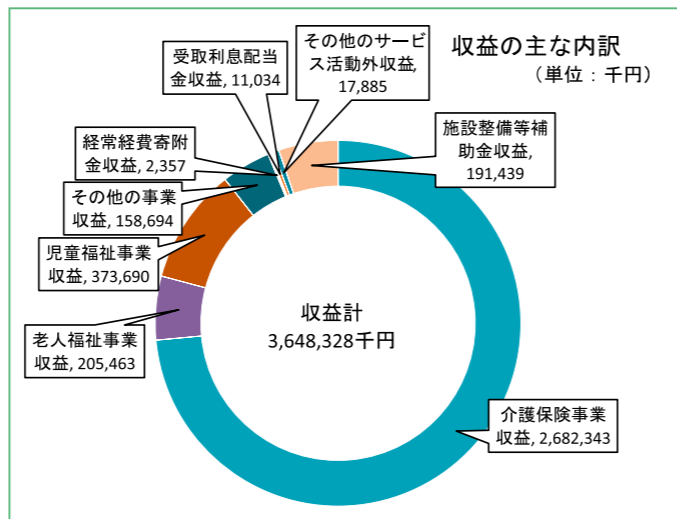
主にご利用者の生活にかかわる事業費は前年度より△17,371千円の減となりましたが、これは主に水道光熱費の減によります。昨年度11月に電力会社の見直しを行った通年の費用削減効果や照明LED化、かんだ連雀の省エネ工事等の影響により、水道光熱費は△10,109千円の削減を達成しました。

事務費は、緑苑やあさひ苑の修繕費等により、前年度比28,045千円の増となりました。それぞれ積立資産の取崩や収支差額を充当しました。

費用全体における構成比は、人件費が65.3%、事業費が14.2%、事務費が12.4%、減価償却費が5.8%となっています。

網代ホームきずなの竣工や各施設の修繕により、貸借対照表の固定資産（建物）や国庫補助金等特別積立金が増となりました。

今回の決算には新型コロナウイルス感染症の影響はまだあらわれていませんが、2020年度決算には収支ともに多大な影響が予測されます。引き続き財務状況の安定化が大きな課題です。



■各施設の取り組み（児童・母子施設）

網代ホームきずな…平成28年度から開始した施設整備（4ヶ年計画）は外構等の工事が終了し、予定通り3月に完了しました。従前は居住棟2棟、管理棟、保育棟の計4棟に分散していましたが、施設整備により1棟に集約し、居室の住環境も大幅に改善し、利用者と職員の双方にとって大きな喜びとなりました。緊急一時保護事業用の居室も5室となり、多子世帯用の居室では7人世帯の受入も実施できました。防災倉庫の設置や、駐車場や駐輪場等も整備しました。

しらとり…利用者支援は、毎月の会議に府中市母子自立支援員および子ども家庭支援センター相談員にも参加いただき、ご利用者の自立促進、課題の解消、アフターケア等のための情報共有と多様な視点での意見交換を行いました。

また保護者の負担軽減と子どもの食育を目的とする給食「しらとり食堂」を毎月実施しました。

しらとりひろばで開催する講座についてホームページからの申し込みを可能にし、多数の参加がありました。

地域公益活動として中学生対象の学習サロン「SKY」に延約160名の参加がありました。泉苑との交流行事にボランティア参加する等、多様な学習支援にとどまらない活動に取り組んでいます。

たっち…子育て交流会、講座について、参加者・職員アンケートをもとに検討し、応募者の増加につながりました。

ひろばについて、利用者アンケートの結果を踏まえて、職員の意見交換を継続し、随時取組を充実しました。

4月からファミリーサポートセンター支援システムを導入し、会員および利用管理の業務省力化につながりました。

■職員状況

2019年度末の職員数は正職員293名、準職員は常勤換算207.5（実数415名）です。

正職員の平均勤続年数は11.4年、10年以上勤続が52.1%、5年以上10年未満が16.7%となっています。（5年以上68.8%）

2019年度中に入職者は19名、離職率は5.14%です。定年退職者は全員再雇用職員として経験を生かして引き続き活躍しています。

産前産後休暇・育児休業制度を17名が利用し、年度中に8名が復職しました。

採用試験は7回開催し、計25名が採用されました。2019年度中に採用された新入職員を対象とする3月の入職時研修は、新型コロナウイルス感染予防のため、例年3日間で開催するところ1日間に凝縮して行いました。



2019年度 事業報告概要

■2019年度事業計画の取組状況

今年度は、新たな三か年計画を各施設、各会議ごとに策定し、初年度として取り組みました。主な取組内容について、ご報告します。

1. 社会福祉法人としての組織力の強化

評議員・理事・監事等がそれぞれの役割を発揮し、ガバナンス体制を維持しました。またコンプライアンスの検討を目的とした内部監査委員会を設置し、内部管理体制の充実をはかりました。サービス向上のための業務分析と適正配置に取り組み、利用者数と職員体制の適正配置を泉苑とかんだ連雀をモデルに作成しました。

会計監査人監査、監事監査、内部監査（相互検査）を実施しました。会計監査人監査では無限定適正意見をうけ、法人運営や計算書類の適正性について客観的に担保されました。

2. 社会福祉法人を担う職員の育成・働きやすい職場づくり

昨年度に検討した共通の職務要件に続き、13分野の専門職別職務要件を策定し、2020年度当初から職員力の強化に活用することとしています。また60歳以上のシニア職の働き方についても、検討に着手しました。

4月から新たな業務システム「ケアカルテ」の本格運用を開始し、各施設にて部署間の情報共有が円滑になりました。ペーパーレスの取組も始めました。同時に全施設にて導入したiPadは、「ケアカルテ」やグループウェアの利用のほか、直接援助にも活用されています。また年度末には、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、遠隔買い物や遠隔会議等に大活躍しました。

研修は、法人主催の36講座に対し延1995名が参加しました。法人の理念、内部管理の理解から、運営規程に基づく研修やスキルアップ研修等を実施しました。またICTの活用の際に求められる情報セキュリティ研修を行いました。

3. 社会福祉法人として家族支援のための地域の拠点となる

高齢福祉事業と児童福祉事業連携による三世代、四世代におよぶ家族支援の専門性の確立に取り組みました。泉苑・緑苑・あさひ苑の地域包括支援センターとしらとり・たっちの子ども家庭支援センター合同の主催にて、家族支援情報交換会を2回開催しました。自治体や社会福祉協議会、種別を超えた福祉施設・関係機関から延75名、法人職員が延39名参加しました。事例や講座、グループワークを通じ、利用者ごとに連携した三世代・四世代にわたる家族支援について情報交換し、学びあいました。

4. 特記事項

当法人創設以来中城元理事長と歩みを共にされ、長年にわたり法人のために尽力された坂本名管理理事長が2019年9月6日に102歳の長寿を全うされ、かつてのご利用者とともに多くの役職員が別れを惜しまれました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組としては、2020年2月より各部署にてマスク着用や手指消毒の徹底を開始。2月24日付厚生労働省通知を受け、2月28日に対策本部を設置し、月2回の定例会議を通じ、法人全体としての対策を徹底しています。また2020年3月からの小学校臨時休校に際しては、法人内学童保育を実施し、職員の勤務継続を支援しました。（写真は各施設の遠隔面会・遠隔買い物・感染者発生時想定訓練の様子です）



■各施設の取り組み（高齢施設）

泉苑…ご利用者の過ごし方の見直しは3年度目を迎え、余暇研究会を発足。ご利用者ごとの趣向を伺い、活動をケアプランに位置付け実現しました。外出活動の回数を増やし、多くの方に楽しんでいただきました。通所介護においては、入浴の希望にこたえることに努めました。「福祉用具活用」を継続し、浴室での「かかえあげゼロ」を達成しました。

地域の食のニーズに応え、夕食の配達やデイサービスでの持ち帰り食等を拡充しました。

あさひ苑…メンリッケ社のテナマイスター制度による排泄ケアにおけるスキルアップを図り、サービス向上を図りました。通所介護において興味・関心シートを活用し、利用者ヒアリングを実施し、ご利用者の希望の把握に努め、活動に反映しました。家族支援の視点から、府中市社会福祉協議会等と連携し、地域社会資源を探りました。地域・行政・医療・介護事業所と定期的な意見交換を行い、連携を強化しました。省エネとコスト削減のため、2階と3階の照明のLED化工事を実施しました。

緑苑…快適で安心な生活を提供していくうえで、快食・快便・快眠に取り組みました。特に、快食については、ご利用者個人個人が食べやすい姿勢を写真や図を用いて、多職種で共通認識を持ち統一した対応が定着しました。食事前の口腔体操を定例化しました。快眠については、安眠環境の提供のため、熟睡時間帯の見守り方法の検討を行いました。SNSでの発信を開始しました。

かんだ連雀…より適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成を進めることができました。テナマイスター制度の実施を通じて、介護技術の平準化に踏み出しました。特養の東京都実地指導において、生活相談員の動きが特に高く評価されました。すみれ会ボランティアの活動を拡大し、「買い物ワゴン」が成功しました。大規模改修1年目の工事をすすめました。

岩本町ほほえみプラザ…第三期指定管理の初年度となりました。千代田区東部における幅広い高齢者の活動拠点として、地域包括ケアの実現に努めました。入浴に対する希望に応えるプランの見直しを実施し、通所介護における入浴者数を10%増加しました。SNSやホームページでの情報発信を強化し、東社協のコンテストのホームページ部門にて優秀賞をいただきました。

かがやきプラザ相談センター…同一建物内の千代田区在宅支援課、社会福祉協議会、九段坂病院との連携を図り、ご利用者の課題の解決に努めました。年間を通じて勉強会を実施し、関係機関との顔の見える関係づくりを行いました。

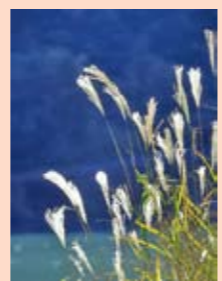
2019年度 事業報告および決算報告（概要説明）

2019年度事業報告および決算報告は第312回理事会（2020年6月11日開催）を経て第73回評議員会（6月26日開催）にて承認されました。紙面の都合で、概要を簡略にご報告します。事業報告書、決算報告書、監査報告書等は当法人ウェブサイトに公開していますので、あわせてご覧ください。

施設 だより



「○○の秋」



猛暑、酷暑がようやくおさまり、待ち遠しかった秋がやってきました。秋は実り多き季節。各施設の実りある秋の便りをお届けします。

あさひ苑

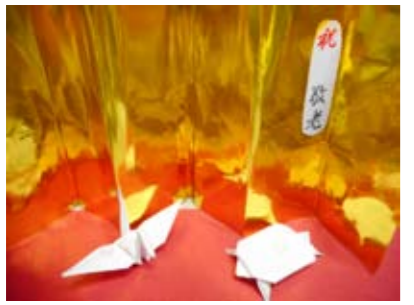
敬老の秋

秋の祝日はいくつもありますが、やはり一番は「敬老の日」です。由来は色々ありますが、有力な説は聖徳太子が今でいうところの老人ホームを設立した日だそうです。名称も「としよりの日」↓「老人の日」↓「敬老の日」と変化していますが、高齢者を敬うことに変わりはありません。

今年度のあさひ苑特養ホームの賀寿者は古希1名、喜寿2名、傘寿4名、米寿7名、卒寿6名、白寿2名、上寿3名の合計25名と大勢の方がいらっしゃいます。最高齢は103歳になります。

長生きの秘訣を何と多くのご利用者から「好き嫌がなく何でもよく食べる」という答えが返ってくるので、改めて食の大切さを痛感して、嫌いな食べ物が多い自分の食生活について考えさせられました。

違った形で楽しんでもらえるようにお祝いをしたい、皆様に喜んでいただき、更に長生きしてほしいだけのように取り組んでいきます。



ホーム介護員 (介護福祉士) 窪田 健

しらとり

芸術の秋

しらとり学童の秋は芸術の秋！子どもたちは創作活動に熱心で、お絵かき、プラバン制作、ミサンガ編みや折り紙、裁縫など、いろいろな制作に取り組んでいます。子どもたちの中で一番のブームはアイロンビーズです。お手本を見ながら自分でビーズの配置を考えて黙々と取り組んでいます。その集中力はすさまじく、あっとい間に時間が経ってしまいます。また、失敗しても試行錯誤して取り組む姿に子どもたちの成長を感じます。失敗しながらも取り組み、作り上げた後の子どもたちの誇らしげな顔がとても印象に残っています。

職員は最後の仕上げ、アイロンでの接着です。これを失敗してしまうと、これまで頑張ってきたものが台無しになってしまうので責任重大です。幸いにも今回はうまくいき、子どもからも及第点をもらえました。完成したアイロンビーズは折り紙やブロックと合体して飾りつけ。子どもたちの自由な発想や創意工夫に職員は驚くばかりです。創作活動に限らず、子どもたちのやりたい、チャレンジしたい気持ちを後押しできる指導員でありたいと思います。



少年指導員 (保育士) 宮田 貴之

2019年度 決算報告

資金収支計算書 2019年4月1日～2020年3月31日

勘定科目	決算額
介護保険事業収入	2,682,343
老人福祉事業収入	205,463
児童福祉事業収入	373,690
その他の事業収入	158,694
借入金利息補助金収入	3,394
経常経費寄附金収入	2,357
受取利息配当金収入	11,034
その他の収入	19,571
事業活動収入計	3,456,545
人件費支出	2,362,971
事業費支出	516,712
事務費支出	449,580
利用者負担軽減額	405
支払利息支出	5,502
その他の支出	6,570
流動資産評価損等による資金減少額	497
事業活動支出計	3,342,237
事業活動資金収支差額	114,308
施設整備補助金等収入	191,439
固定資産売却収入	30
施設整備等収入計	191,469
施設整備借入金元金償還支出	40,675
固定資産取得支出	230,934
固定資産除却・廃棄支出	170
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,059
施設整備等支出計	274,838
施設整備等資金収支差額	△ 83,369
積立資産取崩収入	112,666
その他の活動による収入	1,517
その他の活動収入計	114,183
積立資産支出	142,359
その他の活動による支出	1,092
その他の活動支出計	143,451
その他の活動資金収支差額	△ 29,269
当期資金収支差額合計	1,671

事業活動収支計算書 2019年4月1日～2020年3月31日

勘定科目	決算額
介護保険事業収益	2,682,343
老人福祉事業収益	205,463
児童福祉事業収益	373,690
その他の事業収益	158,694
経常経費寄附金収益	2,357
その他の収益	1,686
サービス活動収益計	3,424,232
人件費	2,367,147
事業費	517,073
事務費	449,645
利用者負担軽減額	405
減価償却費	208,986
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 121,539
徴収不能引当金繰入	504
サービス活動費用計	3,422,222
サービス活動増減差額	2,011
借入金利息補助金収益	3,394
受取利息配当金収益	11,034
その他のサービス活動外収益	17,885
サービス活動外収益計	32,313
支払利息	5,502
その他のサービス活動外費用	6,570
サービス活動外費用計	12,071
サービス活動外増減差額	20,242
経常増減差額	22,252
施設整備等補助金収益	191,439
固定資産受贈額	140
固定資産売却額	30
その他の特別収益	174
特別収益計	191,783
固定資産売却損・処分損	170
国庫補助金等特別積立金積立額	184,896
特別費用計	185,066
特別増減差額	6,716
当期活動増減差額	28,969

貸借対照表 2020年3月31日現在

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	974,678	流動負債	542,443
固定資産	7,453,731	固定負債	497,887
基本財産	3,966,065		
その他の固定資産	3,487,666		
		負債の部の合計	1,040,330
		純資産の部合計	7,388,080
資産の部合計	8,428,409	負債及び純資産の部合計	8,428,409

たっち

うたの秋

たっちのひろばでは、通常火・木・土曜日の1時から、スポットタイムというスタッフがからくり時計の前でふれあいあそびをしたり季節のうたを歌ったり、親子で楽しく過ごす時間があります。毎月、季節にちなんだ親子で歌えるうたを選んでいきます。

秋によく歌われるうたは、とんぼのめがね、どんぐりころころ、大きなくりの木の下で、などです。パネルで風景が描かれたり、モールで作ったとんぼが出てきて子ども達の頭に止まったり、曲によっては一緒にふりをつけて踊ったり、秋には雰囲気のあるうたがいっぱいです。参加されている保護者の方も、大人になって久しぶりに口ずさむ曲もあり、懐かしい想いになったり、お子さんと一緒に大きな声で楽しんでいる様子もみられます。新しいうた、昔からあるうた…、口ずさみながら秋を味わいたいと思います。

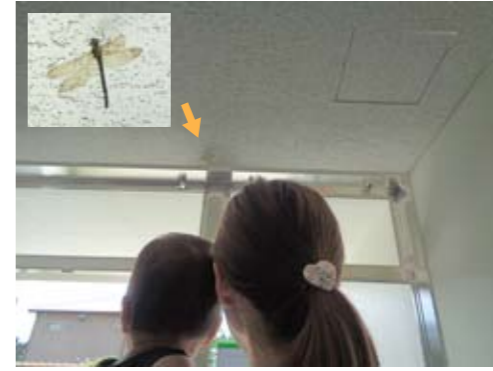
センター長
(社会福祉士)
寺嶋 恵美



きずな

発見の秋

保育室に通っている子ども達はよくお散歩に行きます。地面にはキリギリスやバッタ、木のそばにはドングリやマツボックリ、地域の方の畑には野菜がたくさん！見渡す限り自然があり子ども達は大喜びの毎日です。



虫や木の実を探す時には暑さ対策の帽子をかぶり、片手にカッターを持ち捕獲準備をして真剣な眼差しでいざ出発！一列になり、探検隊のように目を光らせお目当ての虫や木の実を探します。年齢の高い子どもが誘導をして率先して探し始め、捕まえられると嬉しそうにお友達や職員に見せ、喜びを分かち合います。写真は施設入り口に入ってきたオニヤンマを保育士に抱っこされて眺めているAちゃんの様子です。初めて見るオニヤンマに興味津々でした。まだ続く、自然の秋を保育室の探検隊と一緒に探していきたいと思います。

保育(保育士) 小林 さくら

岩本町

ウォーキングの秋

秋と言えばスポーツの秋。ケアハウスでは、少し変わった場所でのウォーキングが静かに流行しています。廊下の窓からは、神田の街とビルと空が良く見え、その中を、何往復も歩くご利用者の姿をよく見かけます。

この「廊下ウォーキング」は、天候に左右されず、段差もなく、気軽にできます。体力をつけるため、ダイエツのため、コロナ禍で運動不足が心配等、理由は様々。ご自分のペースで時間や歩数を決めて行っています。お互いに歩いている姿を見かけると、「どの位歩いた？」と声を掛け合っています。

「少しづつ続けることが大事」と言われます。継続は力なり！一日でも長く続けていただけると応援しています。

ケアハウス主任 (介護福祉士) 滝 幸恵



泉苑

感染症強化の秋

泉苑では、感染症対策として感染症発生時の対応訓練を実施しました。感染ソートニング、感染者用の部屋の使用方法等とシート交換を実際に行いました。準備・交換・片付け・消毒方法等を「こうした方が…」とこんな時はどうする?」などなど話し合い、手探り状態の確認作業でした。まだまだ、確認事項は盛りだくさんですが、介護・相談員・看護の各職種の間から意見・疑問・知識を持ち寄り確実なマニュアルを構築していきたいと思えます。

府中市でも感染者が増え生活圏内での感染が発生し、よりいっそう感染の危機を強く感じています。また、秋から冬にかけてインフルエンザ・ノロウイルス感染症が流行する季節ですので、今後も気を引き締めて感染予防対策を強化・実施していきます。

ホーム看護
(看護師)
吉田 早百合



連雀

受験の秋

多摩同例会では、オンラインによるケアマネ受験講座(全7回)が開講しました。法人に入職して1年の私も受講させていただくことにしました。講師は先輩職員の方々、エントリーしている職員は17名、私は初対面の方がほとんどです。

施設の会議室で参加する人、自宅から参加する人もいて子育て中の方は時にお子さんが登場したりして、張り詰めている勉強会場が和みます。私も少し肩の力が抜けて講義を受けることができました。録画をしているので、あとで復習もできます。

受験するのが、自分一人だけではなく、仲間がいる事がわかり、心強いと共に身が引き締まりました。合格した時には、地域の高齢者、そのご家族を支援できる介護支援専門員になりたいと思っております。

試験は10月11日です。初めて受ける方、何回か受けている方、色々な方がいらっしゃると思いますが、受講者全員の合格を祈り、引き続き講座に参加したいと思っております。



かんだ連雀
(介護福祉士)
渡嘉敷 和也

緑苑

少しセンチメンタルになる秋

信愛寮のTさんにお話を伺いました。

「私にとつての秋ね?秋ってすこし淋しい気分になるのよね。だって長い夏休みが終わって2学期が始まるでしょ。私はね、走るのも運動するのめげんが苦手で唯一自慢出来たのが泳ぐことだったの。私の小さい時は海になんて連れて行ってもらえなかったら、すぐ近くの多摩川で泳いだの。川で泳げれば海でなんかすぐに泳げるようになるって言われてね。

夏は私のことを友達みんなが、Tちゃん泳ぎが凄くうまいね、って褒めてくれるのがうれしくてね。だから夏は大好きだったの。

秋になると、水泳も出来なくなるし、また運動音痴の私に返っちゃうのよね。気温もどんどん下がってくるでしょ。ああ、夏は温かく皆と泳いだのが楽しかったな。って毎年思っていたから、秋になると少し気持ちも落ち込んでセンチメンタルな気分になっていわたね。」と昔を懐かしむ表情もなんとなく物憂い顔をされ話してくれたTさんでした。

介護支援員
(ヘルパー2級)
佐藤 晶彦



ボランティア紹介 ～緑苑～

養護老人ホーム信愛寮のサークル活動は、スポーツ吹矢、華道、カラオケ等いろいろありますが、中でも約30年の歴史をもつのが「歩けサークル」です。講師は現役の担当から引き続いての大先輩ボランティアです。活動当初は比較のお元氣なご利用者も多かったのですが、時にはマイクロスコープを使って少し遠出したこともありました。

最近では参加者も少し減ってしまい、近くの公園を約1時間かけて歩き、季節折々の花の説明や樹の特徴などを、講師から説明して頂き、参加したご利用者からは「知らなかったわ。とても勉強になった。今度はこの花のことを質問しようかしら」など盛り上がりがあります。

歩いて健康維持・下半身強化にもなりますし、大変有意義で楽しいサークル活動を支えて頂いています。

(養護生活相談員 介護支援専門員 平岡貴弘)



御寄贈・御寄付ありがとうございます (掲載を可とされた方のお名前です。敬称を省略させていただきます)

(株)アビック 一步の会 大沢良三 株式会社
 福岡萬精米工場 E C 事業部 酒井京子 佐
 川急便株式会社 佐竹尚代 柴田志津子
 高橋裕香 高山和子 千代田区社会福祉協
 議会 東京都麹蕪協働組合 東京都食肉生

活衛生同業組合 一般社団法人東京文具工
 業連盟 日本コカ・コーラ株式会社守山工
 場 廣池利邦 三菱商事株式会社 (株)秀
 匠 明治安田生命相互会社千代田支店
 (2020年6月～2020年8月)

ボランティアの御協力ありがとうございます (敬称を省略させていただきます)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2020年2月より
 ボランティア活動のほとんどを中止いただいています。

赤林好子 井出睦子 北村よし子 高倉祥
 子 久島なる子 村井福子 柳澤梅子 朗

読赤十字奉仕団
 (2020年6月～2020年8月)

◆当法人では各施設の日
 常の様子や活動などをお伝
 えするためSNSでの情報
 発信を始めました。

Facebook は法人本部と
 高齢5施設、Instagram は
 法人本部と泉苑、緑苑、か
 んだ連雀、岩本町ほほえみ
 プラザの4施設が始めてい
 ます。

季刊しんあいやホームペ
 ージとはまた違った視点で
 多摩同胞会を知っていただ
 ける場になればと思ってい
 ます。

是非ご覧いただき、いい
 ね！やフォローをよろしく
 お願いします！

SNSはじめました!

採用の情報や各施設の様子をお届けします!



facebook

社会福祉法人多摩同胞会

いいね! お待ちしてます



Instagram

tamadouhoukai

follow me!!



HP、ブログも更新しています!

介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

●泉苑 老後支援 24時間
 ☎0120-6540-24

●あさひ苑 福祉にっこり 24時間
 ☎0120-2942-24



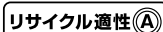
法人ウェブサイトはこちら



Facebook 更新中



採用情報サイトはこちら



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



編集後記

私の秋は

街中にハロウィンのかぼち
 ややおばけの装飾がされ始め
 ると、秋がきたなと感じます。
 (たつち 齋藤絵里)

私の秋は、家の小さな庭での
 家庭菜園です。今から秋ですが
 楽しみです。
 (緑苑 平岡貴弘)

私の秋は読書の秋! この秋
 は本を10冊読む事が目標です。
 (しらとり 吉田智咲)

私の今年の秋は10月のケア
 マネ試験の為に勉強をしてい
 るはず!
 (かんだ連雀 伊藤裕太)

私の秋はドライブの秋! 友
 人とドライブをしてリフレッ
 シュしたいと思います。
 (きずな 高橋風子)

私の秋は公園で子供と一緒に
 木の実拾いです。やじろべえ
 でも作ろうかな?
 (岩本 松本幸二郎)

毎年、秋には新米が届きます。
 今年も美味しく出来たが、今か
 ら楽しみです。
 (泉苑 南佳代)

毎年秋は子どもと一緒にど
 んぐり拾いをします。今年は虫
 取りも追加されそうで怖ろし
 いです。
 (事務局 井坪香織)

寒くなりきる前にLet'sキャ
 ンプ!
 (泉苑 石川愛)

夏に立てた目標を実現する
 秋にします。目標は秘密です。
 (事務局 青木志乃)

私はチョコの秋。秋冬限定の
 洋酒チョコを買い溜めて食べ
 るのが楽しみです。
 (あさひ苑 櫻井拓磨)

孫の七五三のお祝いです。私
 のために祖母が仕立ててくれ
 た着物を孫が着てくれるのが
 とてもうれしくて楽しみです。
 (編集長 上野廣美)

今年、トイトレの秋になり
 そうです。未っ子がトイトレレ
 ーニング中です。
 (あさひ苑 田中愛)

私の秋は、家の小さな庭での
 家庭菜園です。今から秋ですが
 楽しみです。
 (緑苑 平岡貴弘)